

【ポスター発表】

## 職業リハビリテーション分野の熟達者は初心者とは何が違うのか

—対人援助職の熟達概念分析を通じた考察—

○ 職業能力開発総合大学校 石原 まほろ (009212)

キーワード3つ：職業リハビリテーション従事者、熟達、概念分析

## 1. 研究目的

近年、障害者の就労意欲の高まりや企業における障害者雇用に対する理解の浸透などにより、事業所で勤務する障害者数は15年連続で増加しており、職業リハビリテーション(以下、職リハ)サービスの担い手である職リハ従事者の人材育成は重要な課題と認識されている。職リハ従事者に求められる能力に関しては、専門分野を横断して共通する基礎的知識・スキルと職務や専門分野の特性に応じた付加的知識・スキル(松為 2013)、支援テクニック、支援態度、知識・情報、連携の4カテゴリーに分類できる資質(白兼 2014)などが報告されており、これらの知見は人材を育成するための研修プログラムの構築などに役立てられてきた。しかし、研修を受講しただけでは実践に生かせる知識やスキルを習得することは難しく、職リハの現場には依然として、解決が必要な複数の職業的課題が残されている。職リハ分野の人材育成に関する課題は繰り返し指摘されているが、十分な解決策が見出されているとはいえない。このことは、従来研究で明らかにされてきた職リハ従事者に求められる知識やスキルの習得をめざすだけでは、困難性の高い支援場面において質の高いサービス提供を行うことに限界があることを示していると考えられる。

では、職リハ従事者が、困難性の高い支援場面においても利用者に満足感をもたらす支援を実現するためには何が必要なのだろうか。こうした問いへの答えを探るべく、本発表では、熟達研究に着目した。熟達には領域固有性が存在するため(Ericsson 2014)、本来、職リハ従事者の熟達は、職リハ従事者を対象とした研究をもとに検証する必要がある。しかし、職リハ分野や近隣領域であるソーシャルワーク分野において、熟達者を対象とした実証的研究はほとんど行われていない。そこで本発表では、国内で対人援助職を対象として行われた実証的研究をもとに、対人援助職の熟達概念を明らかにした上で、職リハ分野における概念活用の有用性と今後の課題について考察を行うことを目的とした。

## 2. 研究の視点および方法

文献を収集するため、CiNiiを用いて、「熟達」をキーワードに2018年までに発表された論文を対象とした検索を行った(検索日2019年3月1日)。抽出された1,360件のうち、①原著論文であり、②対人援助職を対象とした文献を選定し、最終的に33件を分析対象とした。分析は、Rodgersの提唱する手法を用いて、概念を構成する属性、概念に先立って

生じる先行要件、概念に後続して生じる帰結、関連する概念に関する記述内容を単語や句の単位で抽出し、共通性と相違性に配慮しながらカテゴリー化を行った。

### 3. 倫理的配慮

本研究は、日本社会福祉学会研究倫理指針の「引用」に関わる規定などに準拠し行った。

### 4. 研究結果

対人援助職の熟達の属性として【多面的で共感的な利用者理解】【構造化された実践知と専門的スキル】【広い視野やメタ認知】【展望に基づく支援】【利用者を尊重した対応】【困難な場面での適切な対応力】の6つのカテゴリー、対人援助職の熟達の先行要件として<利用者への支援経験の蓄積><知識の習得や新たな気づき><失敗経験や困難事例への対応><職場における他の支援者からの学びやサポート><指導的な役割><職場における新たな取組><職場外での経験>の7つのサブカテゴリー、対人援助職の熟達の帰結として<利用者の成長><利用者の負担軽減><利用者との信頼関係の深まり><支援者としてのやりがい><学びの継続やさらなる業務改善>の5つのサブカテゴリーが抽出された。関連概念には「熟練」及び「ベテラン」が挙げられた。

### 5. 考察

対人援助職の熟達の属性のうち、構造化された実践知と専門的スキルを有し、展望に基づき、困難な場面においても適切な対応力を発揮するといった特徴は、認知心理学の熟達研究で従来から言及されていたものと共通していた。一方、認知心理学の熟達研究で言及されることが少なかった属性として、多面的で共感的な利用者理解や利用者を尊重した対応が挙げられた。これらの属性は、熟達した対人援助職には必要不可欠なものであると考えられた。対人援助職の熟達の属性のうち、職リハ従事者の人材育成に関する従来研究ではあまり着目されてこなかった属性として、構造化された実践知と専門的スキル、広い視野やメタ認知、展望に基づく支援、困難な場面での適切な対応力が抽出された。これらの属性を考慮した人材育成を行うことが職リハ従事者の専門性の向上に資すると考えられた。

#### 【引用文献】

Ericsson, K. A. (2014) Expertise, *Current Biology*, 24(11), 508-10.

松為信夫 (2013) 「障がい者の雇用にむけた支援者の育成」『日本労働研究雑誌』55 (10) , 54-62.

白兼俊貴 (2014) 「第2章第1節 職業リハビリテーション研究発表会等における『職リハ人材の専門性』の認識」下条今日子・森誠一・白兼俊貴・ほか『職業リハビリテーションを担う人材の専門性に関する基礎的研究』障害者職業総合センター, 7-17.